

《次回企画展》



絢爛たる刀装具 石黒派



- ◆ 会 期 2021年8月7日（土）～ 2021年10月24日（日）
- ◆ 開館時間 午前10時～午後5時（入館は4時30分まで）
- ◆ 休 館 日 月・火曜日（但し、祝日は開館）
- ◆ 入 館 料 一般800円／大学・高校・中学生500円／小学生300円
* 障害者手帳をお持ちの方と付き添い者1名は50%割引
- ◆ 主 催 清水三年坂美術館
- ◆ 概 要

武具として古くから用いられてきた刀装具は、室町時代以降、将軍家や大名家などの御用品として装飾性を伴うものが作られるようになりました。太平の世が続いた江戸時代にはますます実用から離れ、18世紀には将軍家・大名家の御用を務めた「家彫」に対して「町彫」と呼ばれる在野の彫金家も登場し、脇差の帯刀を許された豪商らのもとめに応じて贅を尽くした刀装具が作られました。

石黒派は初代石黒政常（まさつね／1760～1828）より始まる町彫の一派です。江戸時代後期に隆盛し、おもに花鳥を主題とした刀装具を得意としました。多彩な装飾性を誇った町彫のなかでも、とくに色と形の際立つ豪華な作風で知られています。漆黒の地板の上に表された金や赤などの立体的なモチーフは、石黒派の絢爛たる刀装具を代表するものといえるでしょう。

この度の展示では、石黒派きっての名工として知られる石黒政美（まさよし）や政常らの刀装具をはじめ、当館収蔵の石黒派の作品を網羅的にご紹介します。

[広報用の写真使用について]

当展示会の広報記事をご掲載頂けます場合は、出品作品の写真（デジタル画像データ）を無償でお貸し出しいたします。ご希望の方はメールでinfo@sannenzaka-museum.co.jp（広報担当：杉）までご連絡ください。なお、ご使用に際しては下記の注意事項をご確認をお願いいたします。

- ・写真にはキャプションをつけてください。
- ・写真の二次使用は禁止いたします。
- ・掲載物が発行される前に、校正の段階で当館に確認をとってください。
- ・掲載物を1部寄贈してください。

◆主な出品作品



《牡丹孔雀図大小鐺》石黒政美（右：大 8.1×7.5cm 左：小 7.7×7.1cm）



《鳥尽し合口拵》石黒政常（長45.0cm）
※下は鐙部分





《花鳥図大小鐔》石黒是常（右：大 8.2×7.6cm 左：小 7.4×7.2cm）



《秋草に鶉図大小縁頭》石黒是美
（右：大 縁4.2cm 頭 4.6cm 左：小 縁3.8cm 頭3.5cm）



《菊尽し打刀拵》石黒政美（長94.4cm）
左：鐙部分 右：鯉口・鐔・縁部分

◇ 参考

※本作品は当企画展では展示されません
(2021年6月30日現在、常設展で展示しています)

拵の各部名称



【初代萩谷勝平・萩谷勝保《秋草に虫図脇差拵》長40.4cm／明治8年（1875）頃】